

2021年度第3四半期 IR決算説明資料

2022年2月3日

日本テレビホールディングス株式会社

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。
しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

- **2021年度3Q決算について**
- 主なグループ企業の状況
- 2021年度の見通し
- コンテンツビジネス戦略
- デジタル戦略
- 戦略的投資

決算のポイント

Point
1

広告市況の大幅改善により増収増益

- ・ テレビ広告収入が一昨年のコロナ禍前の水準にほぼ回復
個人・コア視聴率首位背景にスポット増収 シェア約30%
タイムも東京五輪等で増収
- ・ 番組制作費等のコストコントロール
- ・ アニメ海外販売好調、デジタル配信動画CMの売上倍増
- ・ Huluの会員数伸長、ティップネス・ACMの赤字幅縮小

Point
2

通期連結業績見通しを上方修正

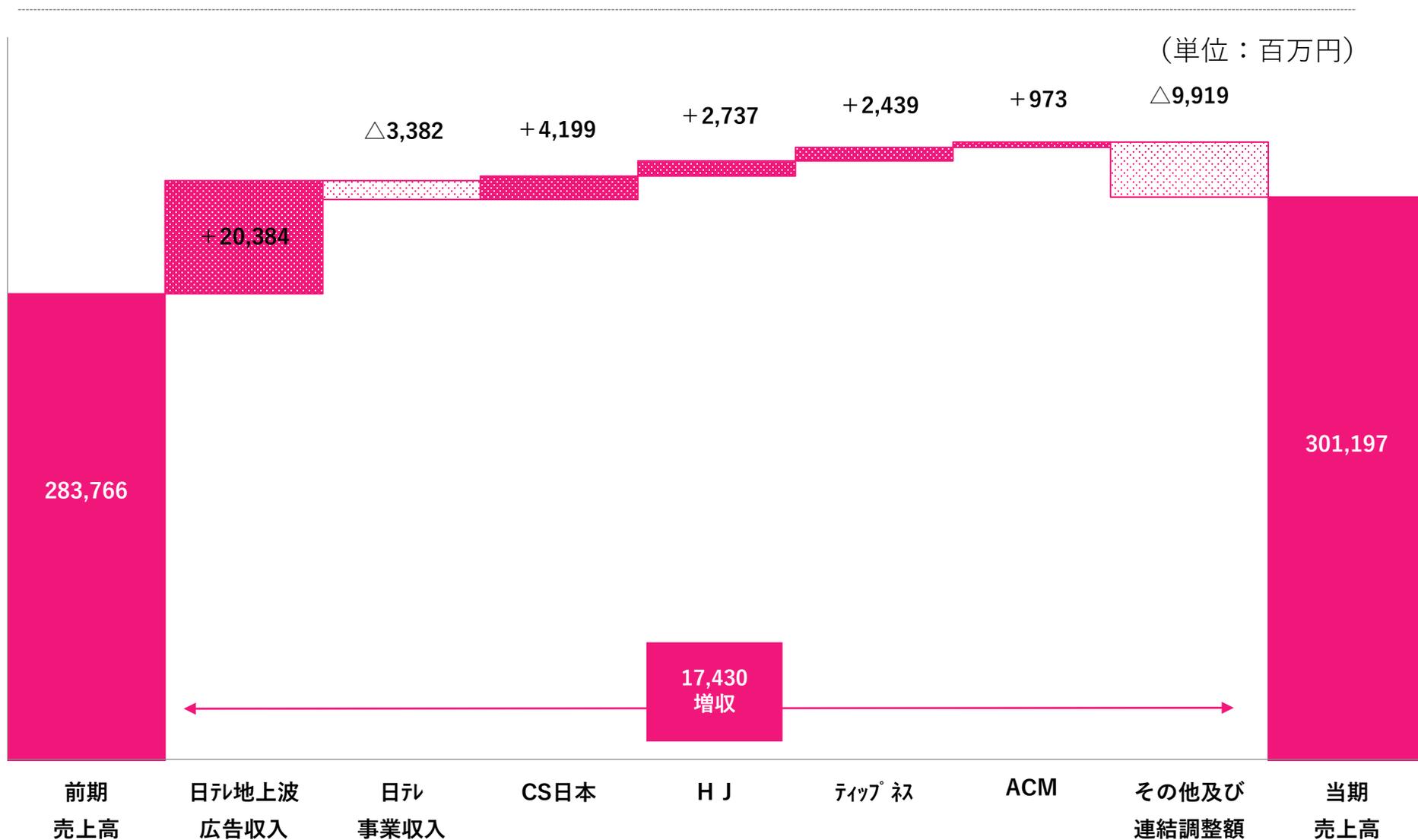
- ・ スポット収入が前回発表予想を上回る見込み
- ・ コストコントロールの進展 ・ 有価証券売却益計上

2021年度第3四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

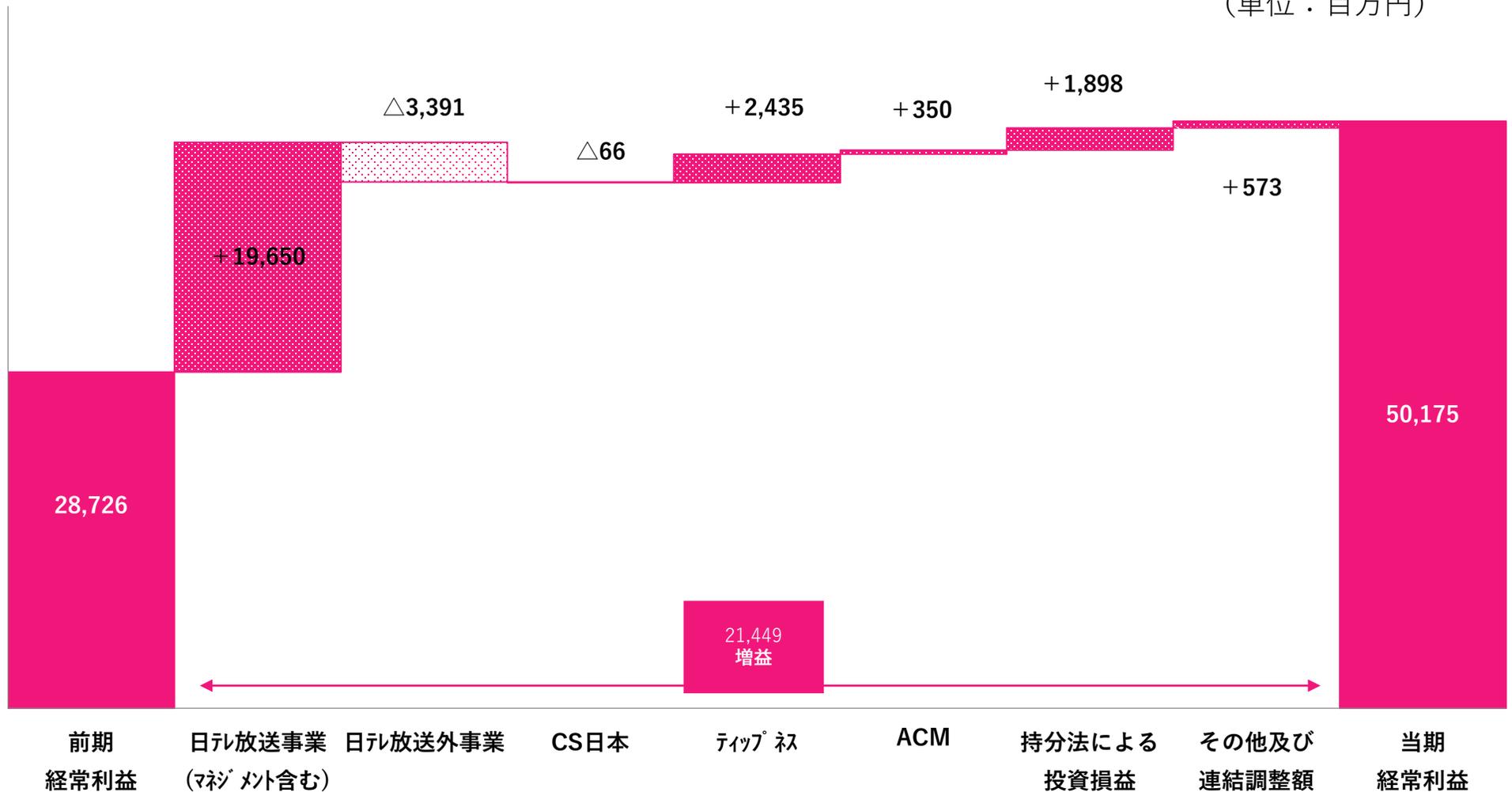
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減率 (%)
売上高	283,766	301,197	6.1
営業利益	24,237	44,835	85.0
経常利益	28,726	50,175	74.7
親会社株主に 帰属する四半期純利益	16,813	38,872	131.2

売上高の前年同期増減分析



経常利益の前年同期増減分析

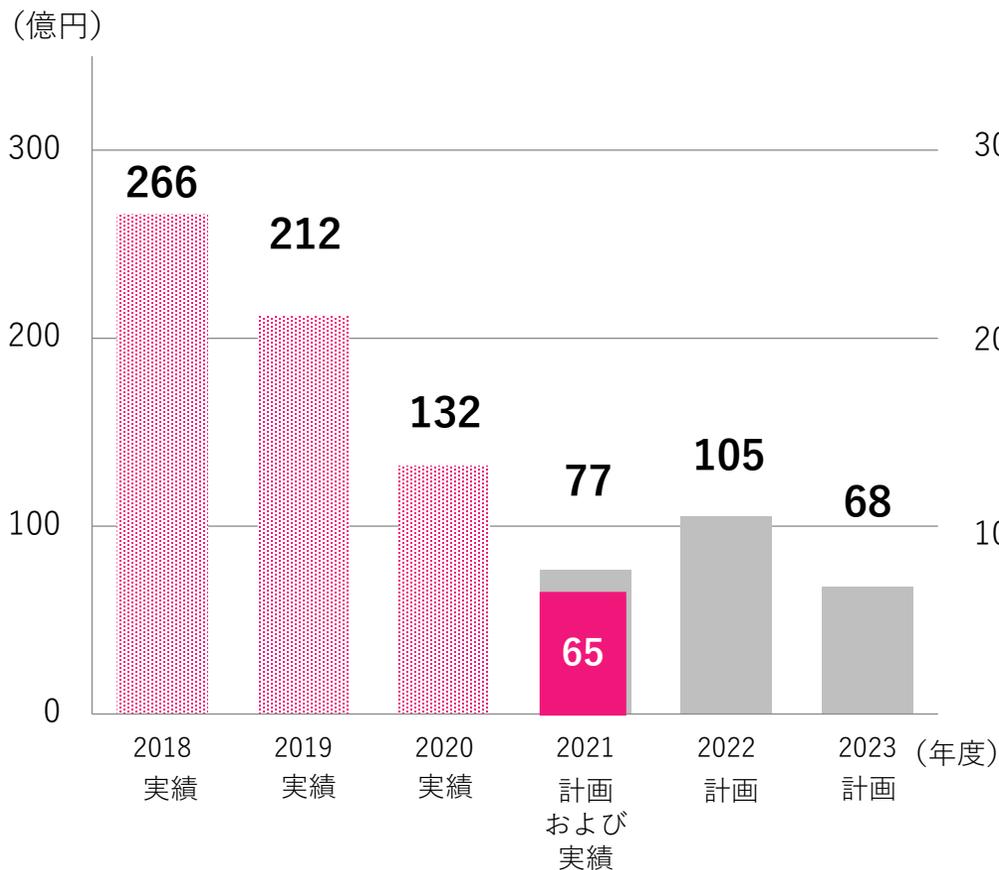
(単位：百万円)



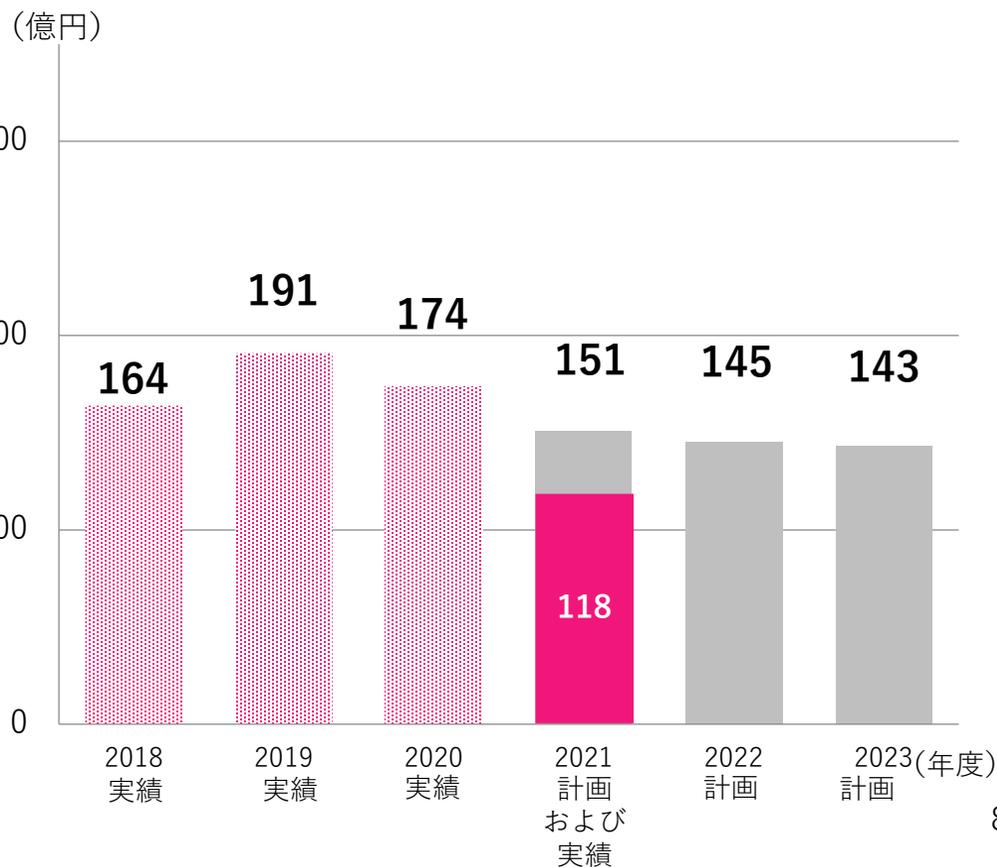
設備投資・減価償却費（連結）

2021年度第3四半期 (単位：億円)	設備投資額	減価償却費
		65

設備投資額



減価償却費



- 2021年度 3Q決算について
- **主なグループ企業の状況**
- 2021年度の見通し
- コンテンツビジネス戦略
- デジタル戦略
- 戦略的投資

日本テレビ放送網 決算概況

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減率 (%)
売上高	206,854	223,469	8.0
営業利益	21,960	38,279	74.3
経常利益	25,278	41,156	62.8
四半期純利益	37,067	33,982	△8.3

日本テレビ放送網 営業収入

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減率 (%)
放送収入	161,188	181,572	12.6
番組販売収入	8,579	8,142	△5.1
事業収入	35,373	31,990	△9.6
不動産賃貸収入	1,714	1,763	2.9
合計	206,854	223,469	8.0

日本テレビ放送網 放送収入

(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減率 (%)
放送収入	161,188	181,572	12.6
タイム	89,233	89,680	0.5
スポット	71,954	91,892	27.7

日本テレビ放送網 営業費用

(単位：百万円)

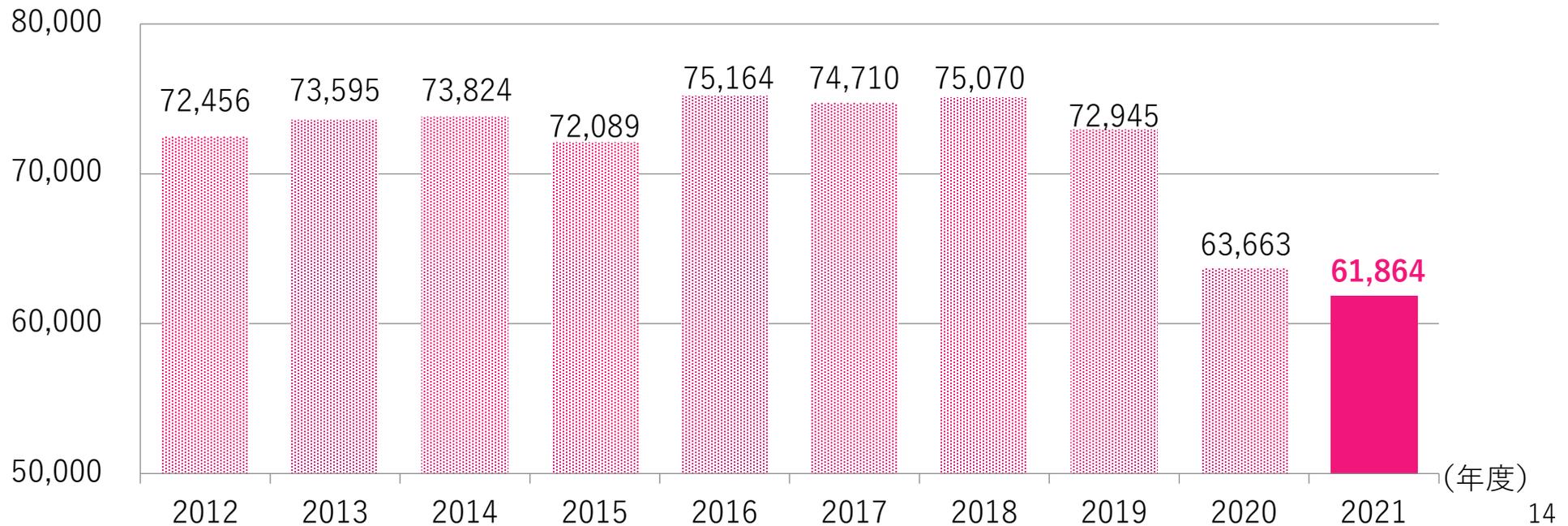
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減率 (%)
番組制作費	63,663	61,864	△2.8
人件費	16,259	16,353	0.6
減価償却費	8,274	7,925	△4.2
事業費	25,650	24,896	△2.9
その他	71,046	74,151	4.4
合計	184,894	185,189	0.2

日本テレビ放送網 番組制作費

(単位：百万円)

2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減率 (%)
63,663	61,864	△2.8

番組制作費（第3四半期）



日本テレビ放送網 事業収支

(単位：百万円)		2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	(単位：百万円)		2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期
映画	収入	8,034	3,161	IPビジネス	収入	1,585	1,155
	費用	5,593	1,479		費用	424	851
	収支	2,442	1,682		収支	1,161	305
イベント	収入	572	1,922	コンテンツ ビジネス※	収入	6,423	1,014
	費用	768	1,865		費用	3,445	495
	収支	△195	57		収支	2,978	518
通販	収入	9,450	7,162	その他	収入	7,518	13,495
	費用	8,084	6,643		費用	6,608	11,727
	収支	1,366	520		収支	909	1,766
アニメ	収入	—	2,969	合計	収入	35,373	31,990
	費用	—	1,622		費用	25,650	24,896
	収支	—	1,346		収支	9,722	7,093
海外ビジネス	収入	1,790	1,112				
	費用	729	214				
	収支	1,061	899				

※今期より日テレG+、日テレNEWS24のCS日本への業務移管により名称変更しました。

その他グループ会社の状況

(単位：百万円)	BS日本	CS日本	日本テレビ音楽	バップ	ティップネス
売上高	12,183 (8.3%)	7,318 (114.7%)	5,447 (△38.5%)	5,356 (△49.3%)	17,240 (16.4%)
営業利益 又は損失 (△)	1,722 (27.9%)	456 (△12.6%)	1,399 (△11.6%)	1,004 (△17.6%)	△2,112 (-)
経常利益 又は損失 (△)	1,753 (26.5%)	460 (△12.6%)	1,414 (△12.2%)	1,106 (△16.8%)	△2,328 (-)
四半期純利益 又は損失 (△)	1,213 (26.4%)	318 (△12.6%)	926 (△17.4%)	957 (△20.0%)	△2,878 (-)

(単位：百万円)	日テレ7	タツノコプロ	HJホールディングス	ACM	PLAY
売上高	2,249 (△17.4%)	1,092 (△9.7%)	24,468 (13.0%)	2,150 (83.7%)	4,973 (15.3%)
営業利益 又は損失 (△)	43 (△74.3%)	2 (△95.3%)	1,113 (26.1%)	△261 (-)	1,052 (△9.8%)
経常利益 又は損失 (△)	46 (△73.3%)	4 (△93.1%)	1,110 (22.7%)	△224 (-)	1,052 (△9.7%)
四半期純利益 又は損失 (△)	31 (△73.3%)	0.6 (△98.5%)	1,066 (18.8%)	△233 (-)	639 (△9.1%)

注：()の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記しています。

- 2021年度3Q決算について
- 主なグループ企業の状況
- **2021年度の見通し**
- コンテンツビジネス戦略
- デジタル戦略
- 戦略的投資

連結業績予想及び配当予想

(単位：百万円)	2020年度実績	2021年度 前回発表予想(A)	2021年度 今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高	391,335	400,000	405,000	5,000
営業利益	34,526	46,000	55,000	9,000
経常利益	42,944	52,000	61,000	9,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	24,042	41,000	46,000	5,000

配当予想 *今回、配当予想の変更はありません。

(単位：円)	第2四半期末	期末	合計
2020年度 (実績)	10	25	35
2021年度 (予想)	10	25	35

2021年度地上波テレビ広告収入の見込み (前期比)

(単位：%)	(前回予想)	通期予想
テレビ広告収入	+6.1	+8.3
(うちタイム)	-0.1	+0.2
(うちスポット)	+13.2	+17.2

- ・ 2021年度3Q決算について
- ・ 主なグループ企業の状況
- ・ 2021年度の見通し
- ・ **コンテンツビジネス戦略**
- ・ デジタル戦略
- ・ 戦略的投資

2021年 個人視聴率

2021/01/04(月)～2022/01/02(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全 日	① 4.0	② 3.9	③ 3.1	⑤ 1.5	④ 2.9	22.1
6時～24時	▲0.6	▲0.3	▲0.3	±0.0	▲0.2	▲1.3
プライム	① 5.9	① 5.9	③ 4.7	⑤ 3.2	④ 4.5	34.0
19時～23時	▲0.9	▲0.4	▲0.5	▲0.2	▲0.3	▲2.0
ゴールデン	① 6.2	② 5.8	③ 4.7	⑤ 3.6	④ 4.6	36.2
19時～22時	▲0.9	▲0.4	▲0.6	▲0.2	▲0.3	▲2.0
ノンプライム	① 3.5	② 3.3	③ 2.6	⑤ 1.0	④ 2.5	18.6
全日-プライム	▲0.5	▲0.3	▲0.3	±0.0	▲0.1	▲1.1
プラチナ	① 3.1	② 2.2	③ 2.0	⑤ 1.0	④ 1.9	13.3
23時～25時	▲0.5	▲0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.1	▲1.2

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2019/12/30(月)～2021/01/03(日)

**✓ 日本テレビは11年連続「個人視聴率3冠」（プライムはEXと同率）
ノンプライム・プラチナを含み、7年連続「個人視聴率5冠」**

2021年 コアターゲット視聴率

2021/01/04(月)～2022/01/02(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全 日	① 3.4	④ 1.7	③ 1.8	⑤ 0.7	② 2.3	12.0
6時～24時	▲0.7	▲0.2	▲0.2	±0.0	▲0.2	▲1.4
プライム	① 5.4	④ 3.2	③ 3.6	⑤ 1.7	② 3.9	21.2
19時～23時	▲1.2	▲0.3	▲0.4	▲0.1	▲0.2	▲2.4
ゴールデン	① 5.6	④ 3.1	③ 3.6	⑤ 1.8	② 4.0	22.0
19時～22時	▲1.3	▲0.2	▲0.4	▲0.2	▲0.2	▲2.2
ノンプライム	① 2.8	③ 1.3	③ 1.3	⑤ 0.4	② 1.8	9.4
全日-プライム	▲0.6	▲0.1	▲0.1	±0.0	▲0.2	▲1.2
プラチナ	① 2.9	② 2.0	④ 1.5	⑤ 0.7	③ 1.8	10.4
23時～25時	▲0.8	▲0.5	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲1.8

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2019/12/30(月)～2021/01/03(日)

- ☑ コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標
「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す
- ☑ 日本テレビは9年連続「コア3冠」、8年連続「コア5冠」。

2021年 視聴人数ランキング

	番組	分数	局数	全国到達人数	全国平均視聴人数
1位	2021/08/03 東京五輪 (サッカー男子準決勝・日本×スペイン)	185	28	5145.6万人	2120.9万人
2位	2022/01/02 第98回東京箱根間往復大学駅伝競走往路	375	30	4525.4万人	1604.2万人
3位	2021/07/31 東京五輪 (陸上女子100m決勝、男子100m予選など)	210	29	4410.5万人	807.4万人
4位	2021/04/04 日テレ系人気番組春のコラボSP!	234	30	3892.3万人	952.0万人
5位	2021/08/01 東京五輪 (バスケットボール男子予選、競泳決勝、ゴルフ男子最終R、フェンシング男子フルーレ3位決定戦など)	270	30	3832.1万人	373.6万人
6位	2021/01/05 ザ!世界仰天ニュース4時間SP	234	28	3795.9万人	1024.3万人
6位	2021/08/05 東京五輪 (レスリング女子フリースタイル57kg級決勝、女子フリースタイル53kg級準決勝など)	235	30	3795.9万人	433.8万人
8位	2021/08/21 24時間テレビ44 愛は地球を救う PART1	165	30	3771.8万人	1144.8万人
9位	2021/07/03 THE MUSIC DAY 2021 Part3	234	29	3759.8万人	1144.8万人
10位	2021/03/24 Premium Music 2021	234	29	3747.7万人	1024.3万人

2021/01/04~2022/01/02/個人4才以上/日本テレビのみ/レギュラー番組・単発番組いずれも各回表示(日別最高値)/ビデオリサーチ調べ

- 全国到達人数** : 1分以上視聴人数を推計
全国平均視聴人数 : 番組全体の平均視聴人数を推計
- 東京五輪の民放最高視聴率となったサッカー男子準決勝は、5100万人以上が1分以上視聴。音楽番組などの特番でも、“地上波テレビのリーチ力”を証明。**

2022年4月改編について

【改編のテーマ】

- ★テレビの危機を乗り越え、
生活者から支持・選択されるタイムテーブル
- ★OFFからONへ、ONからFANへ、
FANからBUZZへ！
～コンテンツを通じて、生活者に常に話題を提供し続ける～

-
- ① GP帯の改編
 - ② 土日BC帯の改編

2022年度 日本テレビの「ヒトIP」戦略

2020 NiziU



2021 BE:FIRST



SKY-HI

2022 PRIKIL



● IPビジネス

「テレビを超えろ」 地上波番組との連動企画、Hulu配信コンテンツを通じてアーティスト誕生の瞬間から、スターへの階段を駆け上がっていく姿をお届けします！

2020年、グローバルガールズグループオーディション企画「Nizi Project」から誕生したNiziU（JYP Entertainment/ソニー・ミュージックレーベルズ）を皮切りに、2021年はSKY-HIプロデュースによるボーイズグループオーディション「THE FIRST」からBE:FIRST（BMSG）、そしてハイレベルな練習生たちがしのぎを削るサバイバルオーディション「Who is Princess?」からPRIKIL（FNC ENTERTAINMENT JAPAN）と、新しいアーティストの誕生と感動を日本中に届けてきました。

コンテンツに紐づくIPとは別に、アーティストに紐づくIPを「ヒトIP」として捉え、テレビをきっかけに新しいスターを生みだし、その後放送、配信、音楽、ライブ、ゲーム、マーチャンダイジングなど幅広くアーティスト活動を応援していきます。

2022年も、ワクワクする新たなデビュー・オーディション企画をスタート致します！

- ・ 2021年度3Q決算について
- ・ 主なグループ企業の状況
- ・ 2021年度の見通し
- ・ コンテンツビジネス戦略
- ・ **デジタル戦略**
- ・ **戦略的投資**

TVerの取り組み 2021年3Qまとめ

◆ 12月27日から大規模な年末年始キャンペーンを実施、
過去最大規模のコンテンツが配信された



◆ アプリダウンロード累計 約4400万（12月末）

◆ 12月にMUB（重複を除いた月間訪問者数）が最高値1900万を記録

◆ 第100回全国高校サッカー選手権大会では
地区決勝・全国大会の全試合をライブ配信



◆ 10月2日(土)から「日テレ系ライブ配信」開始！

- ・GP帯を中心とした番組を配信
- ・年末は12月30日「ぐるナイ卒業ゴチ」 12月31日「笑う大晦日」など
多数の特番もライブ配信、ユーザーから高い支持を得た

日テレ系ライブ配信

hulu HJホールディングス 2021年度3Qまとめ

◆ 3Q末の有料会員数は前年同期比104%、3Q累計売上高は前年同期比113%

◆ 11月3日デビュー！「BE:FIRST」コンテンツ絶好調

- ・ 11月5日にTVOD配信した初ワンマンライブが史上最高券売を記録
- ・ 11月26日からの新シリーズ「BE:FIRST Gifted.DAYS」も好調



◆ 水土日ドラマに加え「あなたの番です」が会員獲得に貢献

- ・ 「恋です！」「二月の勝者」「真犯人フラグ」が新規会員獲得に大きく寄与した他、映画公開と共に連ドラ版「あな番」が急上昇、12月単月で新規連続ドラマ並の新規会員獲得に貢献



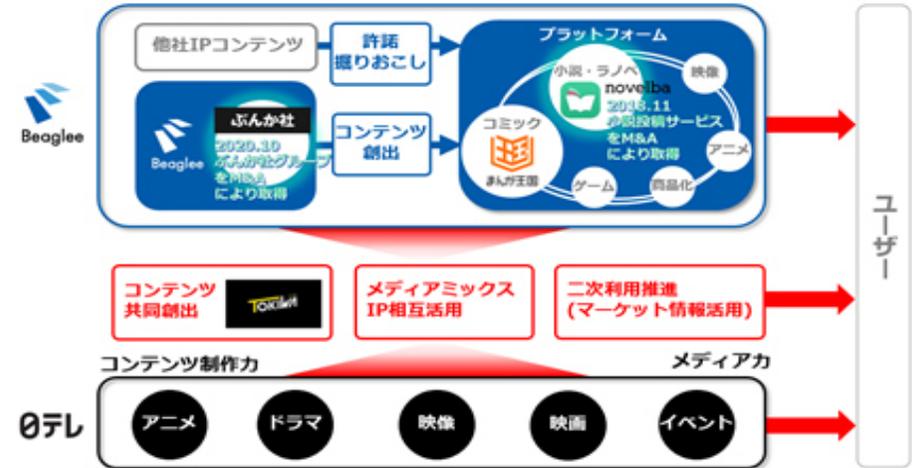
◆ Huluならではの「チャットパーティー企画」大盛況

- ・ 会員同士がチャットで盛り上がりながら視聴できる「ライブTVチャット」は、有料配信SVODサービスではHuluのみが実装、配信コンテンツの新たな楽しみ方として好評を得ている
- ・ 3Qは「BE:FIRST」「マトリックス」「あなたの番です」「たりないふたり」などで企画を実施

戦略的投資について

●コンテンツプロデュース能力の強化

- ⇒コミック配信サービス『まんが王国』を中核に、コンテンツプロデュースを行う(株)ビーグリーと資本業務提携契約を締結、公開買付けの結果25%の株式を取得、日本テレビグループの関連会社に
- ⇒両社リソースの拠出・活用による「共同IP (知的財産)開発」「既存IPの利活用の拡大」を行い、継続的成長を目指す



- ⇒資本業務提携締結後の企画第1弾として、日本テレビが運営するYouTubeチャンネル「ぼくたちのあそびば」において、『まんが王国』とコラボしたコミックの制作を決定
- ⇒今後も継続してコンテンツの協創を推進



補足資料

セグメント別 実績

(単位：百万円)

2021年度 第3四半期	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高	279,519	17,003	7,670	304,192	5,331	309,524	△8,327	301,197
セグメント利益 又は損失 (△)	44,379	△2,195	2,907	45,091	425	45,517	△682	44,835

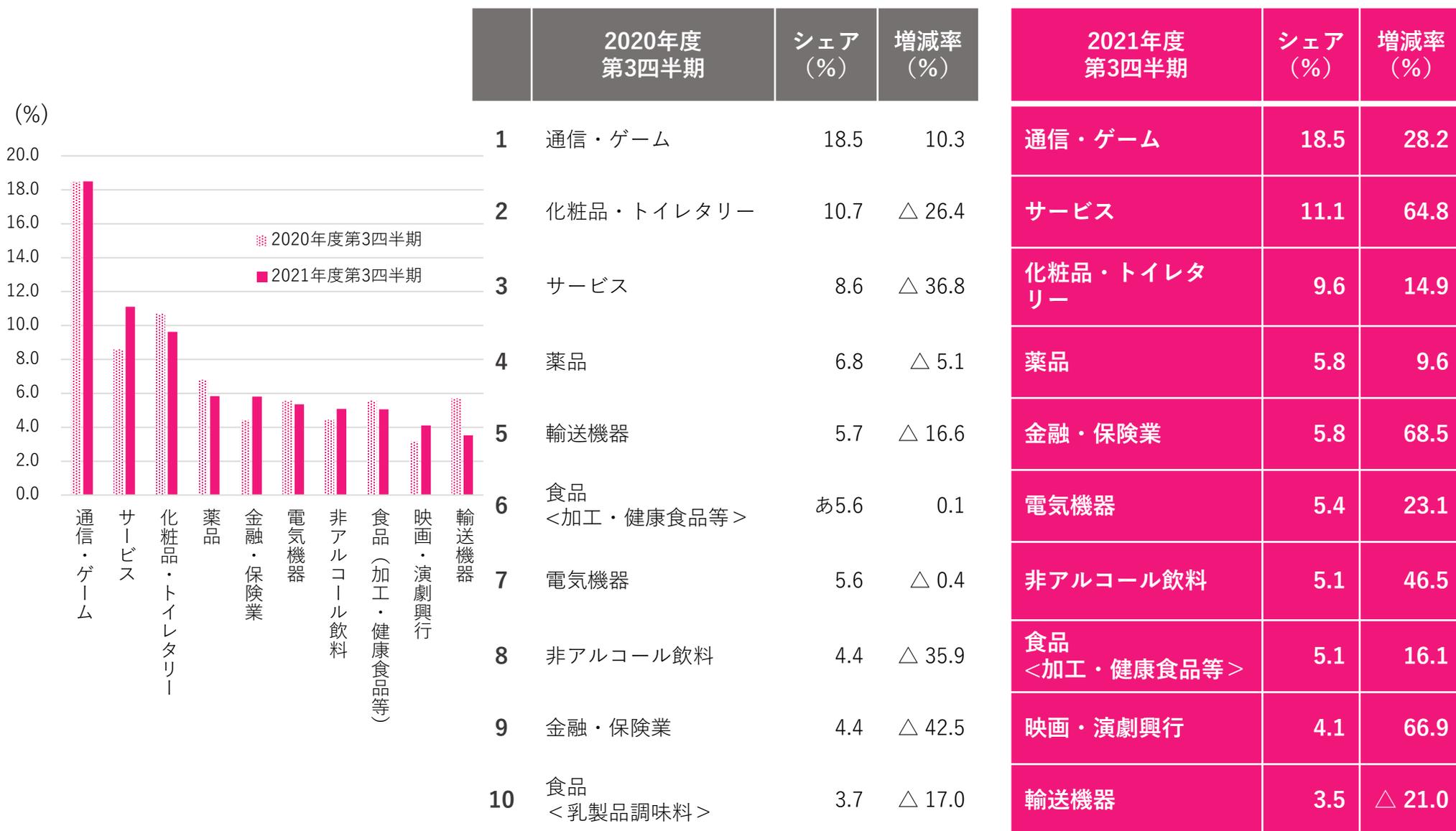
事業区分	主な事業内容
メディア・ コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、動画配信事業、有料放送事業、 映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、 映画事業、イベント・美術展事業、テーマパークの企画・運営、 コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産関連事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント、太陽光発電事業

放送収入 前年同月比

タイム	2020年度 (%)	2021年度 (%)
4月	△2.4	△4.8
5月	1.9	△1.2
6月	△3.1	0.4
7月	△3.8	8.2
8月	0.6	14.5
9月	△11.6	△8.8
10月	△10.2	1.0
11月	0.1	△5.2
12月	△8.0	△0.6

スポット	2020年度 (%)	2021年度 (%)
4月	△24.7	25.9
5月	△40.2	79.8
6月	△47.5	100.3
7月	△32.6	29.3
8月	△26.4	18.2
9月	△18.5	33.9
10月	3.4	11.3
11月	0.4	9.8
12月	11.6	3.0

スポット業種別売上シェア - 地上波（日本テレビ放送網） -



注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

2022年 映画事業の主なラインナップ

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考	
2022年 1/28 (金)	☆ノイズ【noise】	ワーナー	映画「デスノート」から15年 藤原竜也×松山ケンイチが再タッグ! 過疎化が進む孤島で起きた偶然の殺人— 死体がバレたら全てが終わる!新感覚サスペンス 監督：廣木隆一 出演：藤原竜也 松山ケンイチ 神木隆之介ほか	
2022年 2/4 (金)	★鹿の王 ユナと約束の旅	東宝	2015年本屋大賞のベストセラーを日本最高峰のア ニメスタッフが映画化。 「千と千尋の神隠し」「君の名は。」など大ヒット 作品で作画監督を務めてきた安藤雅司の初監督作品 KADOKAWA・日本テレビ共同幹事作品 監督：安藤雅司 宮地昌幸 出演：堤真一 竹内涼真 杏ほか	

2022年 映画事業の主なラインナップ

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考	
4/15 (金)	劇場版 名探偵コナン ハロウィンの花嫁	東宝	劇場版第25弾！ ハロウィンシーズンで賑わう渋谷で起こる事件。 突如、安室の前に現れる因縁の相手。 今祝祭のハロウィンが狂乱の夜行へと変貌する。 監督：満仲 勸 声の出演：高山みなみ 山崎和佳奈 小山力也 古谷徹ほか	
6/24 (金)	それいけ アンパンマン ドロリンとバケ〜るカーニバル	東京 テアトル	映画アンパンマン第33弾 かわいくて愉快的なオバケの街の楽しいお祭り！ 監督：川越 淳 声の出演：戸田恵子 中尾隆聖ほか	NOW PRINTING
初夏	★映画 極主夫道	ソニー	日本中を爆笑に包んだ大ヒットドラマが 映画になって、帰ってくる！ 読売テレビ・日本テレビ共同幹事作品 監督：瑠東東一郎 出演：玉木宏 川口春奈 志尊淳ほか ©2022映画「極主夫道」製作委員会	

2022年 映画事業の主なラインナップ

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考	
初夏	☆メタモルフォーゼの縁側	日活	<p>数々のマンガ賞を受賞した傑作マンガの実写映画化。 17歳の女子高生と75歳の老婦人、ふたりをつないだのは、、、ボーイズラブ!?</p> <p>監督：狩山俊輔 出演：芦田愛菜 宮本信子ほか</p>	
夏	★キングダム2 遥かなる大地へ	東宝・ソニー	<p>2019年公開の邦画実写映画No1の『キングダム』の劇場版第2弾! 前作を大きく超える、邦画史上最大級のスケールで描かれる、超大作エンターテインメント! 夢の続きが、いま始まる!</p> <p>集英社・日本テレビ共同幹事作品 監督：佐藤信介 出演：山崎賢人 吉沢亮 橋本環奈 ほか</p>	
夏	★屋根裏のラジャー	東宝	<p>「メアリと魔女の花」から7年、スタジオポノックが贈る劇場長編アニメ第2弾! 誰にも見えない少年と、 「イマジナリ」たちの物語が動き出す。</p> <p>ポノックLLC・日本テレビ共同幹事作品 監督：百瀬義行</p>	

2022年イベント事業の主なラインナップ

※新型コロナウイルスの影響で開催が延期・中止になる可能性あり

期間	イベント名	内容
<p>[東京展] 4月29日(金祝)～7月3日(日) Bunkamuraザ・ミュージアム</p> <p>国内2会場へ巡回予定 7月16日(土)～9月25日(日) 名古屋市美術館 10月8日(土)～12月11日(日) 京都市京セラ美術館</p>	<p>「ボテロ展 ふくよかな魔法」</p> 	<p>すべてのものを「ふくよか」に描く 南米の巨匠ボテロ、待望の展覧会</p> <p>2022年90歳となる、コロンビア生まれの美術家、フェルナンド・ボテロ。あらゆる対象をふくよかに表現することで知られる世界的巨匠の、日本では26年ぶりとなる待望の大規模展が開催されます。ヨーロッパをはじめ、北米・南米、アジアでも展覧会が開かれる大人気のボテロ作品70点を、一度に見ることのできる貴重な機会です。その圧倒的な迫力を体感ください。名古屋、京都に巡回予定。</p>
<p>[東京展] 4月30日(土)～6月12日(日) 室町三井ホール&カンファレンス</p>	<p>「Detective Conan the Movie 展～銀幕の回顧録(メモワール)～」</p> 	<p>国民的人気アニメ「名探偵コナン」 劇場版作品をテーマにした企画展</p> <p>1997年公開の劇場版「名探偵コナン 時計じかけの摩天楼」を皮切りに、2022年春公開(予定)の最新作・劇場版「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」まで、全25作の劇場版「名探偵コナン」の世界を様々な角度から楽しむことができる体験型の企画展です。名場面を再現した大型展示や大人気キャラクター達とのフォトスポット、映像を使った体験演出など、劇場版「名探偵コナン」ファン必見の内容です。全国各地に巡回予定。</p>
<p>[東京展のみ] 7月23日(土)～10月2日(日) 東京都美術館</p>	<p>「ボストン美術館展 芸術×力」</p> 	<p>エジプト、ヨーロッパ、インド、日本…およそ60点! 「幻の国宝」も里帰り</p> <p>古今東西の権力者たちは、その力を示し、維持するために芸術の力を利用してきました。本展では、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本などさまざまな地域で生み出された、時の権力者に縁ある芸術作品およそ60点をご紹介します。更に、「幻の国宝」と呼ばれる二大絵巻「吉備大臣入唐絵巻」と「平治物語絵巻 三条殿夜討巻」がおよそ10年ぶりに揃って里帰りを果たします。2020年開催予定もコロナで中止となった本展覧会、待望の延期開催となります。ご期待ください。 オフィシャルサポーター：要潤 音声ガイド：鈴木健一・櫻井孝宏</p>